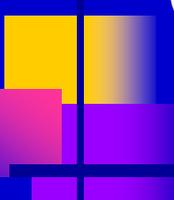


レビー小体型認知症

(第2回もの忘れおしゃべり教室Webセミナー)



DLB

(Dementia with Lewy Bodies)

公益財団法人甲南会

甲南医療センター—認知症疾患医療センター—

小倉 純

アルツハイマー

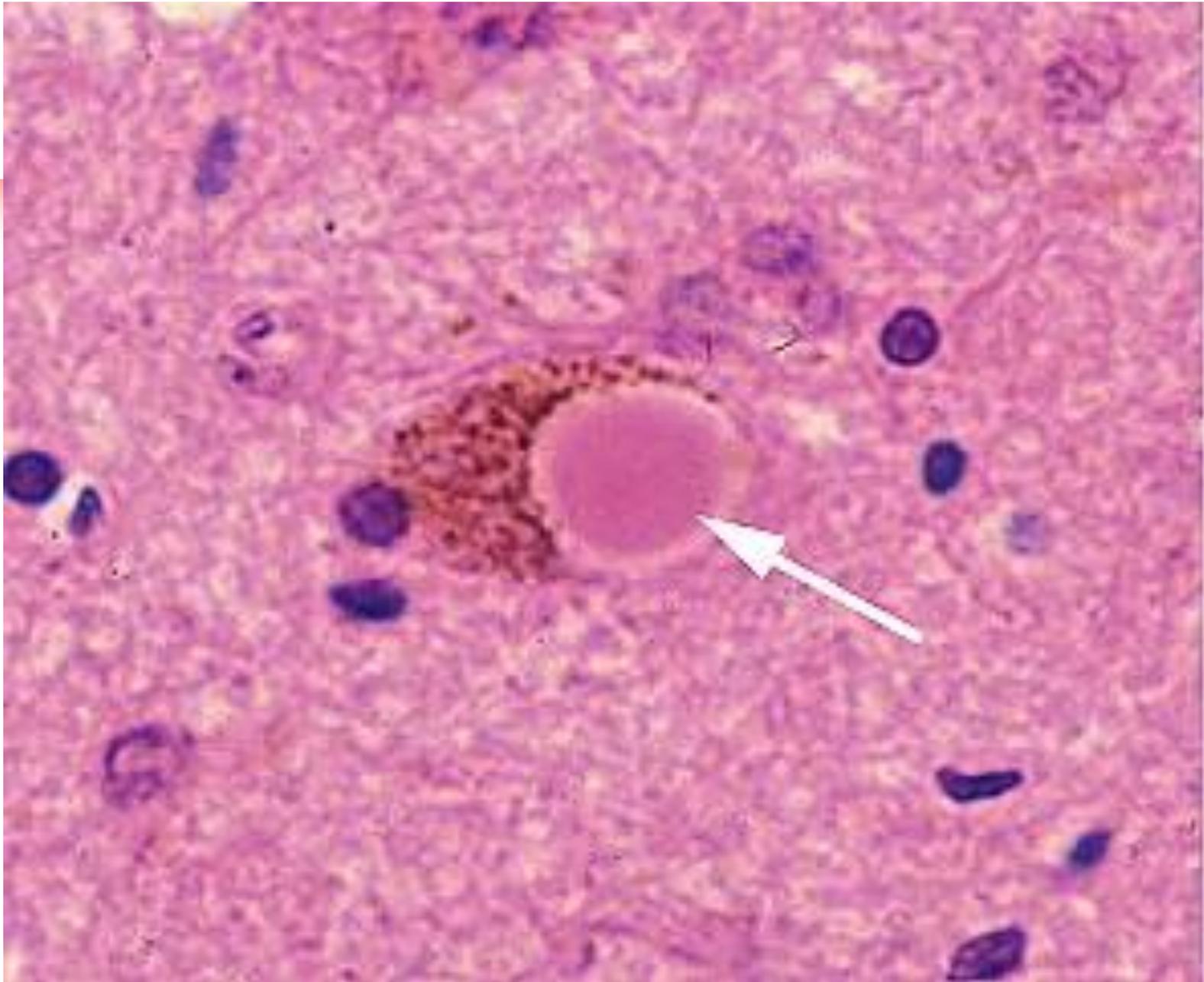


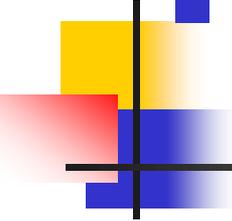
レビー



1910年のミュンヘン大学
精神科教室の写真

レビーク小体



- 
- フレデリック・レビーは**1912年**にレビー小体を報告した。レビー小体はパーキンソン病で見られることが知られているが、レビー小体とパーキンソン病を関係づけたのはレビーではなく、レビー小体型認知症を報告したのもレビーではない。
 - レビー小体病を疾患単位としてまとめるのに大きな役割を果たしたのは横浜市立大学名誉教授の**小阪 憲司先生**

小阪憲司先生



**1939年 生れ。1976年大脳皮質に多数のレビー小体
が出現する認知症を報告。1984年びまん性レビー小体
病を提唱。1991年横浜市立大学医学部精神医学教室
教授就任。1995年第一回国際ワークショップ（英国）で、研
究疾患がレビー小体型認知症（DLB）と命名される。**

レビー小体型認知症の臨床診断基準

必須の症状

生活に支障をきたすような認知機能の低下

中核的特徴

- ① 認知機能に波がある
- ② 繰り返す幻視
- ③ パーキンソン症状
- ④ レム睡眠行動障害

指標的バイオマーカー

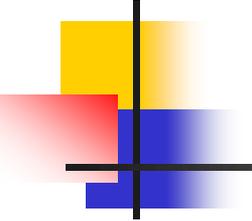
- ① 基底核のドーパミントランスポーター取り込み低下
- ② 心筋シンチグラフィでの取り込み低下
- ③ 睡眠ポリグラフ検査で筋緊張低下を伴わないレム睡眠行動の確認

2項目 = ほぼ確定

1項目 = 疑い

1項目ずつ = ほぼ確定

1項目 = 疑い



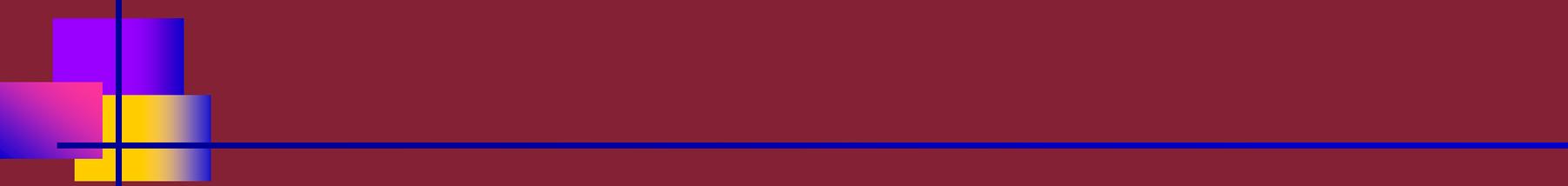
幻視など

- ①人物幻視
- ②生物幻視(小動物が多い)
- ③非生物幻視(水、煙など)
- ④要素的幻視(色、光など)
- ⑤幻聴・幻臭・体感幻覚

その他の精神症状⇒ * 錯視・変形視
* うつ * 被害妄想 * 誤認妄想

誤認妄想 (被害妄想より特異性高い)

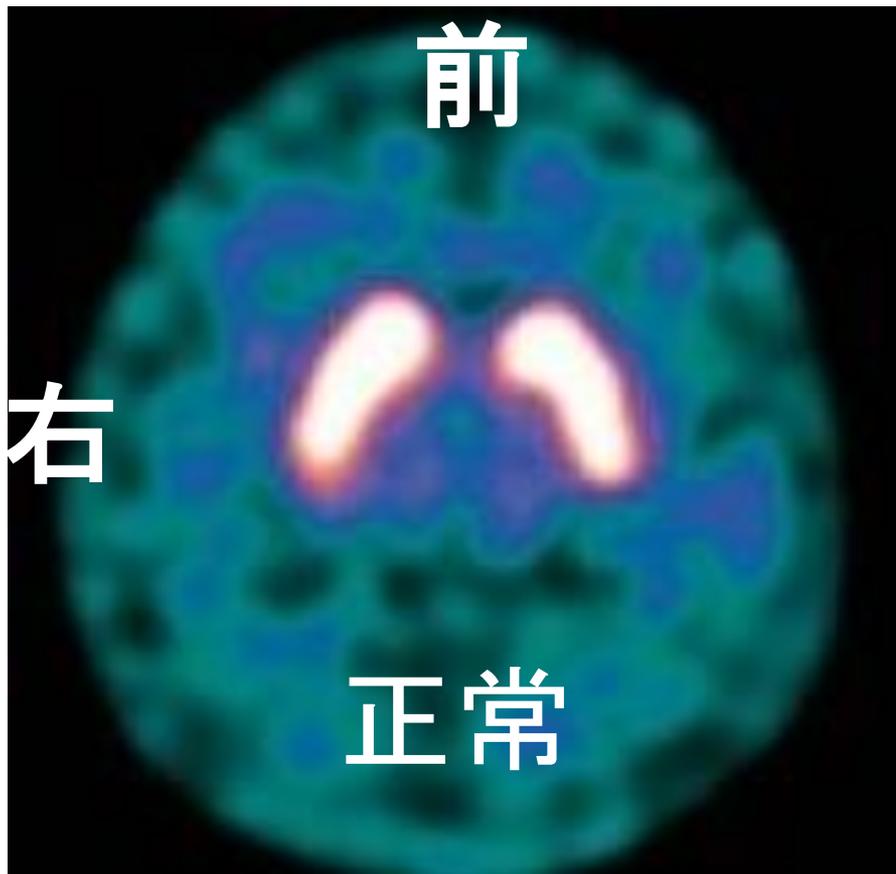
- ①場所誤認 「自宅ではない。間取りが違う」
- ②人物誤認 「訪ねてきた娘を妻と見間違える」
- ③幻の同居人 「家に他人が住んでいる」
- ④替玉妄想 「妻の姿をしているが妻ではない」
- ⑤重複記憶錯誤 「他にも妻がいる、家がある」
- ⑥TV妄想 「俳優が画面から出て話しかける」
- ⑦養生症候群 「亡くなった父と会話」



レビー小体型認知症の 画像診断

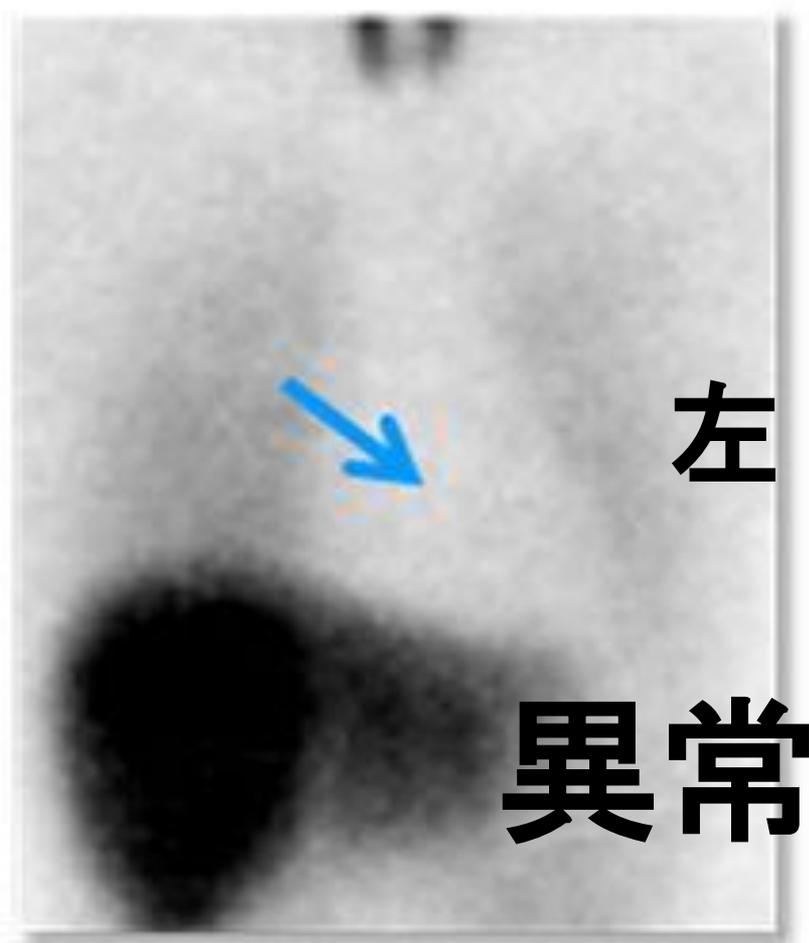
DATスキャン

(レビー小体病、パーキンソン病)



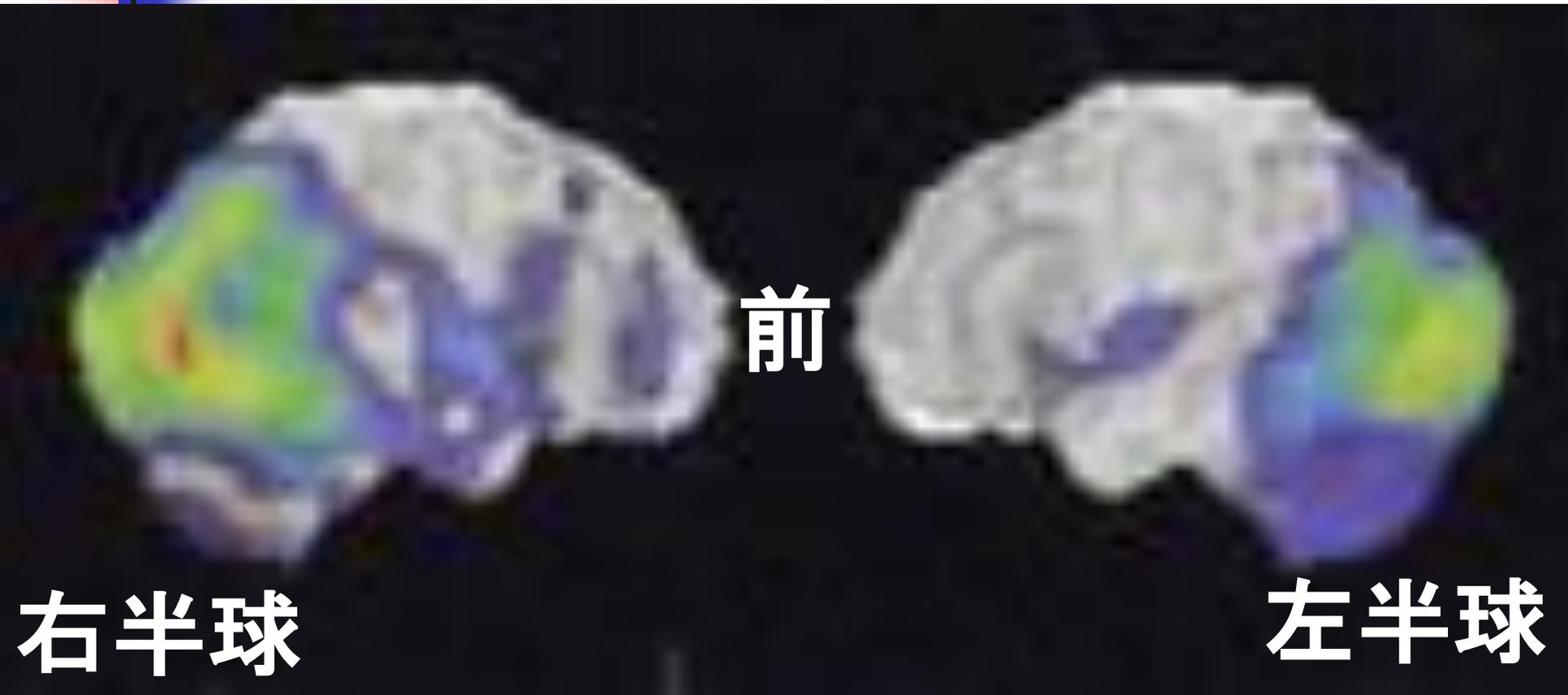
123 I-MIBG心筋シンチ

(レビー小体病、パーキンソン病、純粹自律神経不全症)



機能画像⇒脳血流シンチ

大脳半球外側面



DLBの治療薬

幻覚減少や認知機能向上を目的として

- ドネペジル(アリセプト)
- リバスチグミン
- 抑肝散
- クエチアピン(セロクエル)
- ペロスピロン(ルーラン)



レビー小体型認知症のまとめ

- 疾患単位としてまとめることに小阪 憲司先生が大きな役割を果たした
- 症状の中核は浮動的認知機能障害、幻視、パーキンソン症状、レム睡眠行動障害
- 検査では、DATスキャン、MIBG心筋シンチ、睡眠ポリグラフが有用とされる
- 治療薬としてはドネペジルが中心となる

ご清聴

ありがとうございました

この桜は、
弘明寺の
名木として
指定されています。
樹齢約100年
と推定されています。

弘明寺
名木
指定